

19. その他資料

ここがポイント!

地域の防災活動に参加しよう!

それぞれの地域特性に応じた防災研修会や訓練などが活発に行われています。話を聞くだけでなく、一緒に作業し議論する市民防災ワークショップも盛んに開かれるようになってきました。詳しくは区役所の企画振興担当にお問い合わせください。

① 防災訓練

実際の災害を想定した訓練に参加して、対処法を身につけます。



② 災害图上訓練

災害が起きたときの対応を地図の上で考えます。地震や水害のとき、避難する道や危険な場所、救助に役立つ場所などを探だし、次々に起る出来事に対してとるべき行動を描きこんでいきます。災害に対する地域の「強み」「弱み」がわかります。



③ タウンウォッチング

地図の上で考えた「強み」「弱み」を実際にまちを歩いて確認します。



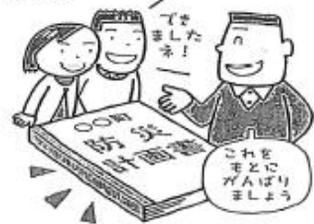
④ わが町の防災マップづくり

危険な道路や老朽化した看板などを、歩いて確認した内容を地図に描きます。



⑤ 身近な地域の防災計画

地域の特性に応じた自主防災の役割や、具体的な避難の方法などの計画を作ります。



地域防災リーダー

地域防災リーダーは、災害時に率先して隣接住民を初期消火や救出救護活動に導き、平常時には地域の人たちと防災知識の習得に取り組む自主防災活動の中核です。

それでは防災訓練を行ないます!



<災害時にあなたの持っている力が重要です>

【技術や知恵を提供】

専門知識、資機材の使い方など、ノウハウの提供



【情報通信ができる】

インターネットなど、必要な情報のやりとり



【その他】

レクリエーションの指導、子どもの世話など



【労力や時間を提供】

在宅被災者・避難所・地域での作業で、清掃・運搬・配給・炊き出しなど労力の提供



【物資や資機材を提供】

救護物資、救助・復旧用資機材の提供



【場所を提供】

一時避難所、ボランティア休息所、物資倉庫、駐車場などの提供



災害時の情報伝達 (個人の安否確認)

- ・家族、友人、職場など連絡先を登録しておきましょう。
- ・連絡先が使えるか？普段から試しておくことが大事です。
- ・災害伝言ダイヤル(171)を体験しておきましょう。
- ・停電する固定電話は使えません、携帯電話もパンクします。
- ・インターネットを利用した手段(メールやLINEなど)に慣れておきましょう。
- ・停電を前提に、携帯や、ラジオの電源確保を考えておきましょう。



(地域での安否確認)

- ・各町会の班単位やマンション単位で、安否確認ができるルールやグループなどをつくり、また定期的に訓練をしましょう。
- ・グループリーダー(班長、理事長)の面談や情報交換を大事にしましょう。
- ・他の町会やマンションとも、情報交換などを行ない、相互に刺激しながら防災対策を進め、より良い地域を作りましょう。

(組織の情報交換(要望))

- ・情報伝達のルールを明確にして訓練をしておかないと、イザと言う時に役に立たない。
- ・大江地区の被災情報や救助情報を得られる場所と手段を決めて公開しておく！

防災
気になる
情報

電話が使えないとき

大規模な災害時には、一般電話や携帯電話の通話が制限されます。NTTの災害用伝言ダイヤルや携帯電話の災害伝言板を活用して、家族や友人に連絡しましょう。

①災害伝言ダイヤル171

NTT西日本(一般電話:音声)

「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言を登録・再生できます。

②災害伝言板

安否情報を登録すると、家族や友人が携帯電話やパソコンから確認できます。詳しくは、各社のホームページなどをご覧ください。

◆携帯電話 災害伝言板(メール)

〈NTTドコモ〉<http://www.nttdocomo.co.jp/info/disaster/>

〈au〉<http://dengon.ezweb.ne.jp>

〈ソフトバンクモバイル〉<http://dengon.softbank.ne.jp>

〈ウィルコム〉<http://dengon.willcom-inc.com>

◆パソコン(テキスト、音声、画像)

〈NTT西日本〉

「災害用ブロードバンド伝言板(web171)」

<https://www.ntt-west.co.jp/dengon/web171/>

※これらのサービスは、毎月1日、防災週間(8月30日～9月5日)、防災とボランティア週間(1月15日～21日)に体験利用できますので、安否情報を登録してみましょう。



非常持ち出し品チェックリスト

リュックサックなど両手が自由に動かせるものに次のようなものを準備し、いつでもすぐに持ち出せる場所に置いておきましょう。家族構成を考え必要最小限に絞り込み、一度背負ってみましょう。また、少なくとも年に一度は点検しましょう。

女性は
約10kg
が目安

男性は
約15kg
が目安



基本品目32点

○大人2人分の目安

- | | | | |
|---|------|---------------------------------------|------|
| <input type="checkbox"/> 非常持ち出し袋 | 1個 | <input type="checkbox"/> 包帯* | 2巻 |
| <input type="checkbox"/> 缶入り乾パン(110g) | 2個 | <input type="checkbox"/> 三角巾* | 2枚 |
| <input type="checkbox"/> 飲料水(500mlペットボトル) | 6本 | <input type="checkbox"/> マスク* | 2枚 |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯 | 2個 | <input type="checkbox"/> 常備薬・持病薬など* | 適当量 |
| <input type="checkbox"/> ローソク | 2本 | <input type="checkbox"/> レジャーシート | 1枚 |
| <input type="checkbox"/> ライター | 2個 | <input type="checkbox"/> サバイバルブランケット | 2枚 |
| <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ | 1台 | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ | 2枚~ |
| <input type="checkbox"/> 十徳ナイフ | 1本 | <input type="checkbox"/> タオル | 4枚~ |
| <input type="checkbox"/> 軍手・手袋 | 2組 | <input type="checkbox"/> ポリ袋 | 10枚 |
| <input type="checkbox"/> ロープ 5m~ | 1本 | <input type="checkbox"/> トイレットペーパー | 1ロール |
| <input type="checkbox"/> 救急袋 | 1枚 | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ | 2個 |
| <input type="checkbox"/> 毛抜き* | 1本 | <input type="checkbox"/> 現金(公衆電話用の小銭) | 約50枚 |
| <input type="checkbox"/> 消毒液* | 1本 | <input type="checkbox"/> ガムテープ(布製) | 1個 |
| <input type="checkbox"/> 脱脂綿* | 適当量 | <input type="checkbox"/> 油性マジック(太) | 1本 |
| <input type="checkbox"/> ガーゼ(滅菌)* | 2枚 | <input type="checkbox"/> 筆記用具 | 1セット |
| <input type="checkbox"/> ばんそうこう* | 10枚~ | <input type="checkbox"/> 生理用品 | |

*は救急袋の中に入れておく。

個人や家庭の事情にあわせ備えを検討するもの

必需品・貴重品類

- 車や家の予備鍵
- 予備メガネ・コンタクトレンズ等
- 預金通帳(写)
- 健康保険証(写)
- 運転免許証(写)
- パスポート・外国人登録証等(写)
- 支援プラン(P19・巻末)

赤ちゃん用品

- 粉ミルク
- 哺乳瓶
- おやつ
- 離乳食
- スプーン
- 洗浄綿
- バスタオル
- ガーゼ
- 紙おむつ
- 母子手帳
- 玩具
- 着替え
- ベビーカー
- おんぶひも
- 毛布

高齢者用品

- 高齢者手帳
- おむつ
- 着替え
- 持病薬
- 予備メガネ
- 看護用品

非常時の連絡方法

「災害用伝言ダイヤル171」

▼伝言の入れ方

①7① + ① + →

▼伝言の聞き方

①7① + ② + →

家庭に備えておくもの

避難後に少し余裕がでたら安全を確認して自宅へ戻り持ち出したり、自宅で避難生活を送るうえで必要なもので、救援物資が届くまでの3日間程度、自足するつもりで備えましょう。



非常準備品

- | | | |
|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ●飲料 <input type="checkbox"/>飲料水(2ℓペットボトル) <input type="checkbox"/>非常用給水袋 ●食料 <input type="checkbox"/>アルファ米 <input type="checkbox"/>乾パン <input type="checkbox"/>パン缶 <input type="checkbox"/>インスタントラーメン <input type="checkbox"/>缶詰類 <input type="checkbox"/>レトルト食品 <input type="checkbox"/>スープ <input type="checkbox"/>味噌汁 <input type="checkbox"/>ビスケット <input type="checkbox"/>キャンディ <input type="checkbox"/>チョコレート <input type="checkbox"/>塩 | <ul style="list-style-type: none"> ●衣類 <input type="checkbox"/>上着 <input type="checkbox"/>下着 <input type="checkbox"/>靴下 ●生活用品 <input type="checkbox"/>タオル <input type="checkbox"/>バスタオル <input type="checkbox"/>毛布 <input type="checkbox"/>雨具 <input type="checkbox"/>予備電池 <input type="checkbox"/>卓上コンロ <input type="checkbox"/>ガスボンベ <input type="checkbox"/>固形燃料 <input type="checkbox"/>鍋 <input type="checkbox"/>ラップ <input type="checkbox"/>アルミホイル | <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>やかん <input type="checkbox"/>皿(紙・ステンレスなど) <input type="checkbox"/>コップ(紙・ステンレスなど) <input type="checkbox"/>わりばし <input type="checkbox"/>スプーン <input type="checkbox"/>フォーク <input type="checkbox"/>歯ブラシ <input type="checkbox"/>石鹸 <input type="checkbox"/>ドライシャンプー <input type="checkbox"/>携帯電話の充電器 <input type="checkbox"/>新聞紙 <input type="checkbox"/>使い捨てカイロ <input type="checkbox"/>安全ピン ●その他 <input type="checkbox"/>ブルーシート <input type="checkbox"/>布製ガムテープ |
|--|--|--|

個人と家庭の事情に合わせて備えを検討するもの

--	--	--	--

救急安心 センターおおさか

医療機関案内・救急医療相談窓口 **24時間** **365日体制**

#7119

または

06-6582-7119

携帯電話・固定電話(プッシュ回線)

固定電話(IP・ダイヤル回線など)

市民からの救急相談を「相談員」「看護師」「医師」が受付します。